

2013 年 新潟脳外科病院業績

論文

原著

1. Onda K, Yoshida Y, Arai H, Terada T: Complex arteriovenous fistulas at C1 causing hematomyelia through aneurysmal rupture of a feeder from the anterior spinal artery. *Acta Neurochir* 2012 154:471- 475.
2. Tamura H, Akaiwa Y, Onda K: Usefulness of acceleration time for internal carotid artery origin stenosis. *Ann Vasc Dis* 2013 6:590-595.
3. Fu YJ, Aida I, Tada M, Toyoshima Y, Takeda S, Nakajima T, Naito H, Nishizawa M, Onodera O, Kakita A, Takahashi H: Progressive myoclonus epilepsy: extraneuronal brown pigment deposition and system neurodegeneration in the brains of Japanese patients with novel SCARB2 mutations. *Neuropathol Appl*
4. Yokoseki A, Saji E, Arakawa M, Kosaka T, Hokari M, Toyoshima Y, Okamoto K, Takeda S, Sanpei K, Kikuchi H, Hirohata S, Akazawa K, Kakita A, Takahashi H, Nishizawa M, Kawachi I: Hypertrophic pachy- meningitis: significance of myeloperoxidase anti- neutrophil cytoplasmic antibody. *Brain* 2013 Nov. 22. doi: 10.1093/brain/awt314.
5. 恩田 清, 吉田雄一, 渡辺幸之助, 宮川照夫, 真矢崎一徳, 新井弘之: 長期画像追跡を行った歯突起後方偽腫瘍例 日本脊髄障害医学会誌 2013 26:96-97

総説

6. 生田房弘: 中田瑞穂の「てんかん 2000 年」を今「Neuro-Gliology」の視点から見る. *てんかん研究* 2012 30:3-8.

講演記録

7. 生田房弘: 新潟大学脳研究所病理学分野 (神経病理学) の生い立ちと歩み. 新潟大学医学部病理学教室開講百周年 (2011) 記念誌 2012; 1-13.

学会・研究会 発表

8. 藤本剛士, 田中優子, 河野健一, 吉村良, 岡田秀雄, 新谷亜紀, 寺田友昭: 80 才以上の高齢者における破裂脳動脈瘤の治療成績と工夫. 第 71 回日本脳神経外科学会総会. 2012 年 10 月 17-19 日 大阪.
9. 藤本剛士, 吉田雄一, 恩田清, 新井弘之, 戸村九月, 田中優子, 河野健一, 吉村良, 岡田秀雄, 新谷亜紀, 寺田友昭, 大島幸亮, 檜山孝美, 大久保信二, 小林博雄: 3 病院における 80 才以上の高齢者における破裂脳動脈瘤の治療成績. 第 42 回日本脳卒中の外科学会. 2013 年 3 月 21-23 日 東京.
10. Onda K, Yoshida Y, Watanabe K, Arai H, Okada H, Terada T: High cervical arteriovenous fistulas fed by dural and spinal arteries and draining into single medullary vein. *ISCoS 2013 ISTANBUL / 52th Annual Meeting* Oct. 28-30. 2013 Istanbul Turkey
11. 三浦浩美, 三宮芳明, 石川清文, 吉田雄一, 新井弘之: 頭部 CT 検査における血腫量の測定方法の検討. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
12. 小林久美子, 阿部幸子, 山岸彰子, 関谷明美, 大塚皓三, 山崎一徳: 退院後の患者に対する外来継続栄養指導により食生活を改善させることが出来た. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
13. 岩田典子, 佐々木智子, 菅原咲子, 中濱美也子, 後藤良志子, 藤本剛士: 脳血管撮影後の安静臥床の短縮に伴う合併症と全身状態の比較調査. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
14. 近藤美佳, 大橋由美子, 星野美里, 渡辺 都, 田村啓和, 赤岩靖久, 新井弘之: 膝を曲げて測定した血圧脈波検査では ABI 値は有意に低値を示す. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)

15. 白川容子, 恩田富士子, 阿部結花, 仲川和也, 佐藤裕美, 長谷川厚子, 野村典央, 山崎一徳: 運用方法改善により, おむつ請求率 100% を達成した. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
16. 本間琴恵, 山崎加奈美, 早川裕子, 井上眞澄, 山崎一徳: 外来待ち時間を利用したビデオによる医療情報提供の試み. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
17. 安達雅史, 吉田麻理, 南波美恵子, 渡辺一樹, 渡邊幸之助: 独自に作成した手術記録入力システムによる業務改善の試み. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
18. 小林みどり, 大屋昭子, 小島俊輔, 南雲由加里, 石川映子: 「古武術介護」を用いた, 介護の身体的負担軽減の試み. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
19. 渡邊弘美, 鈴木和恵, 大原佐友里, 本間 遥, 大塚皓三, 後藤良志子: フットマッサージを加えたフットケアにより歩行機能が著明に改善した. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
20. 片貝 匠, 内山真紀, 大塚皓三, 近藤祐輔, 高橋早紀, 平野 徹, 山崎一徳: 多方向への歩行能力は TUGT と 10m 歩行テストで評価できる. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
21. 大島良子, 佐藤佳代子, 佐藤由起子, 前田 薫, 山崎一徳: 左片麻痺患者の麻痺側上肢の参加度は感覚機能と関係がある. 第 16 回日本病院脳神経外科学会. 2013 年 7 月 20-21 日 福山市. (演題記録として前出)
22. 渡辺正代, 高田亜沙美, 稲葉俊彦, 山崎一徳, 新井弘之: 健忘型 MCI と初期 AD における認知障害の予後予測 ~5 物品遅延再生テストと VSRAD による検討~. 第 14 回早期認知症学会大会. 2013 年 9 月 21-22 日 浜松市. (演題記録として前出)
23. 渡辺正代, 高田亜沙美, 稲葉俊彦, 山崎一徳, 新井弘之: 一過性全健忘の発症状況と病因に関する検討. 第 37 回日本高次脳機能障害学会. 2013 年 11 月 29-30 日 松江市. (演題記録として前出)
24. 平田誠市, 武田茂樹: 新潟県内の薄切方法の紹介とシワ防止対策. 第 20 回東北臨床検査技師会病理検査部門研修会. 2013 年 6 月 15 日 秋田温泉. (演題記録として前出)
25. 小林直之: 髄液検査の実際. 第 34 回新潟支部一般検査研究会. 2013 年 3 月 2 日 下越病院 新潟市. (演題記録として前出)
26. 大屋昭子, 小林みどり, 小島俊介, 南雲由加里, 長谷川厚子: 療養病棟入院患者の介護におけるスタッフの身体的負担軽減の試み ~古武術式介護導入の効果~. 第 19 回新潟県脳外科看護研究会. 2013 年 11 月 9 日 新潟大学付属病院 新潟市
27. 渡邊弘美, 鈴木和恵, 大原佐友里, 本間 遥, 大塚皓三, 後藤良志子: フットケアにより爪や足趾にトラブルを抱えた患者の歩行機能が改善した ~特にフットマッサージによる効果について~. 第 19 回新潟県脳外科看護研究会. 2013 年 11 月 9 日 新潟大学付属病院 新潟市
28. 片岡 淳: アウトブレイク対応について. 2013 年感染防止対策加算連携カンファレンス. 2013 年 3 月 6 日 済生会第二病院 新潟市. (演題記録として前出)
29. 石田真奈美: ICT ラウンド. 2013 年感染防止対策加算連携カンファレンス. 2013 年 6 月 5 日 済生会第二病院 新潟市.
30. 石田真奈美: 問題となる菌の検出状況について. 2013 年感染防止対策加算連携カンファレンス. 2013 年 8 月 7 日 済生会第二病院 新潟市. (演題記録として前出)
31. 片岡 淳: 抗菌薬の使用状況. 2013 年感染防止対策加算連携カンファレンス. 2013 年 11 月 6 日 済生会第二病院 新潟市.